

2011

6 / 1

だん暖たてやま

● 5月1日の人口/総人口 50,012 (41)
男 24,128 (20) 女 25,884 (21)
世帯数 22,496 (65) () 内は前月比

ミライ
市民「船形・那古地区の活性化のため『思い考え』の皆さん
船形「そして行動する」『思行会』の皆さん



平成22年度第2回定期監査

監査事務局では、定期監査と財政援助団体等監査を行い、その監査結果を平成23年3月29日付け館山市監査告示第2号で公表しました。監査結果は、市ホームページで見ることができ、その概要は次のとおりです。

監査対象／【定期監査】
経済観光部（商工観光課・農水産課・みなとまちづくり課・みなと振興室）、建設

環境部（建設課・都市計画課・下水道課・環境課・環境センター）、会計局、農業委員会事務局、教育委員会事務局（教育総務課・スポーツ課・国体推進課・生涯学習課・博物館・図書館・中央公民館・市立の各幼稚園）、健康福祉部（市立の各保育園）**【財政援助団体等監査】**（社）館山市観光協会、南総里見まつり実行委員会

監査委員／宮崎健一、本橋亮一

監査期間／平成22年12月20日～平成23年3月22日

監査場所／館山市監査事務局、各幼稚園、各保育園

監査方法／各所管の財務に関する事務処理について

費用補助制度が充実

木造住宅の耐震診断

市では、木造住宅の地震対策として、平成20年度に耐震診断費の補助制度を創設し、地震に対する意識の向上を図ってきましたが、さらなる利用者の増加を図

るため、今年度から制度の内容を充実させました。

この制度は、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅に対し、耐震診断費の補助を行うもので、これまで

て、予算および提出された資料に基づき、その真実性、妥当性などを調査するとともに、関係職員から説明を聴取しました。

また、財政援助団体の予算執行についても適正なものと同様に、関係職員から説明を聴取しました。

問合せ／監査事務局（☎22-3542）

申込み・問合せ／都市計画課（☎22-3610）

防災備蓄倉庫を設置

日本赤十字社千葉県支部では、市町村から建設地の提供を受け、県内のすべての市町村に防災備蓄倉庫を設置する事業を進めています。このたび、市役所4号館裏側に、防災備蓄倉庫が設置されました。

投光機、移動炊飯器などの救護用防災資材のほか、毛布などの生活関連物資を保管し、地震や風水害などの災害発生時に、市内の被災者などへ供給します。

この倉庫で、災害対策本部などで使用する発電機や

問合せ／日本赤十字社館山市地区（福祉課内）☎22-3492

被災者のための税金の軽減・免除

■国の税金

東日本大震災により被害を受けた人は、特例により、平成22年分所得税の軽減・免除を受けることができ、確定申告などの手続きを行うことで所得税が還付になる場合があります。そのほか、廃車になった自動車の重量税の還付などの特例もあります。詳細は、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）に掲載しています。

問合せ／館山税務署（☎22-0101）

■都道府県・市町村の税金

住民税、固定資産税、自動車税などの地方税についても特例があります。詳細はお住まいの都道府県・市町村まで問い合わせてください。不明な場合は千葉県または市まで問い合わせてください。

問合せ／県税は県税務課（☎043-223-2114）、市税は市税務課（☎22-3262）



▲ 4号館裏側に設置された防災備蓄倉庫

市県民税第1期の納期限は6月30日(木)です。

問合せ／納税課（☎22-3257）



アナログ放送 終了まで あと2か月!!

テレビの地上波放送は、7月24日(日)の正午に、アナログからデジタル(地デジ)へ完全移行します。移行の準備が済んでいない人は、早めに対策をしてください。

■デジサポ千葉がお手伝いします

地デジに関する相談は、総務省千葉県テレビ受信者支援センター(デジサポ千葉)に電話してください。また、希望者には直接訪問し、無料で対応します。

受付時間／【平日】9:00～21:00【土・日・祝日】9:00～18:00

問合せ／デジサポ千葉(☎043-333-7100)

■無料の臨時相談窓口を設置

6月15日(水)から8月26日(金)までの間、市役所1階ロビーに、デジサポ千葉による無料の臨時相談窓口を設置します。火・水・土曜日はデジサポ職員が対面相談を行い、月・木・金・日曜日は直通携帯電話を設置し、電話相談を行います。事前予約は必要ありませんので、お気軽にお越しください。

なお、7月22日(金)、24日(日)は対面相談を行います。

受付時間／9:30～12:00、13:00～16:30

■地デジ受信のための支援

総務省では、まだ地デジを視聴できていない世帯に対して、次の支援を行っています。

①生活保護などの公的扶助を受けている世帯、障害者がいる世帯でかつ世帯員全員が市民税非課税の世帯、社会福祉事業施設に入所し自らテレビを持ち込んでいる世帯のいずれかに該当し、NHK受信料が全額免除されている世帯に、簡易なチューナー(1台)を無償で給付します。また、アンテナ工事などが必要な場合にはその支援をします。

問合せ／総務省地デジチューナー支援実施センター(☎0570-033840)

②市民税非課税世帯に、簡易なチューナー(1台)を無償で給付します。また、簡易なチューナーの設置方法や操作方法について、電話でサポートします。

問合せ／総務省地デジチューナー支援実施センター(☎0570-023724)



女性のための 雇用均等特別相談窓口

千葉労働局雇用均等室では、東日本大震災を受け、雇用均等特別相談窓口を開設しました。

「震災に伴う業務量の減少で人員整理をすることになったが、女性だけが退職勧奨されている」、「つわりがひどく体調が悪いので休みたいが、震災後の仕事が忙しくて休めない」など、妊娠・出産、育

児休業、性別を理由とした解雇などの相談に応じます。

：雇用均等特別相談窓口

受付時間／(月～金)午前8時30分～午後5時15分

※祝日を除く。

相談・問合せ／千葉労働局雇用均等室(☎043-221-2307)

2307)

：仕事応援ダイヤル

受付時間／(月～金)午後5時～午後8時(土)午後10時～午後6時

相談・問合せ／全国社会保険労務士連合会(フリーダイヤル☎0120-07-4864、携帯電話から☎0570-07-4864)

0570-07-4864)

0570-07-4864)

0570-07-4864)

労働保険料の申告・納付はお早めに 期間は6月1日(水)から7月11日(月)まで

労働保険の年度更新の手続きは、平成22年度の概算保険料を精算する「確定申

告」と、平成23年度の見込み保険料(概算保険料)を申告するものです。

申告・納付は、最寄りの金融機関を通じて、早めの手続きを行いましよう。

問合せ／千葉労働局労働

保険徴収課(☎043-221-4317)

守って！ 電波のルール

総務省では、6月1日から10日までを「電波利用環境保護周知啓発強化期間」として、電波を正しく利用していただくための周知・啓発活動や不法無線局の取り締まりを強化します。

安全で豊かな社会を実現するために、電波はルールを守り、正しく使いましよう。

問合せ／関東総合通信局(不法無線局による混信・妨害☎03-6238-1939、テレビ・ラジオの受信障害☎03-6238-1945、地上デジタル放送の受信相談☎03-6238-1944)

地域医療の充実のために…

安房地域医療センターを支援

市では、「安全・安心なまちづくり」を進めている中で、地域医療の充実を図るため、安房地域医療センターに対し、救急センターの建設を補助するなどの支援を行っています。

問合せ／健康課（☎23-3113）

安房地域医療センターでは、6月から、既存の病棟の南側に、救急センターの建設を開始します。完成は、平成23年度中を予定しています。安房郡市の3市1町では、この建設事業などに対して、平成23年度から20年

間で総額1億5千万円の補助金を支出します。市では、この補助金のうち、約8千300万円を負担します。救急センターが建設されることにより、次のような効果が見込まれます。◎これまで亀田総合病院ま

で搬送されていた患者の一部を受け入れられるようになり、搬送時間が大幅に短縮されます。

◎看護師や事務職など、新たな雇用が創出されます。

◎手狭だった救急スペースの問題が解消されます。救急車による搬送については、年間2千件の受け入れが可能となり、医療の安全性と質の向上が期待されます。（平成22年度の救急搬送件数は1千326件）

■その他の支援

市ではこのほか、次の支援も行っています。



▲平成23年度中に完成予定の救急センター

◎救急医療事業運営費補助金に係る負担金として、毎年度補助を行っています。（平成22年度の負担金額は約3千790万円）

◎固定資産税（病棟などの建物や医療機器などの償却資産に対して課税）と都市計画税（病棟などの建物に対して課税）を減免しています。

◎安房地域医療センターの敷地を、平成40年4月23日まで無償貸与しています。

ごみ指定袋 取扱店を追加

「ごみ指定袋取扱店」に次の店舗が追加になりました。

館野地区／（株）おどや九重店（稲36番地の1）
問合せ／環境課（☎22-3354）

女性のための健康相談

相談は予約制で、無料です。検査や治療は行いません。

問合せ／安房健康福祉センター（☎22-4511）

…内科医師（女性）による健康相談…

身体や心の症状など全体的な相談に応じます。

実施日／6月20日、8月8日、10月17日、12月19日、2月20日（すべて月曜日）

…泌尿器科医師（男性）による健康相談…

尿漏れ、頻尿、残尿感など泌尿器科系の症状や悩みの相談に応じます。

実施日／9月27日、1月24日（ともに火曜日）

…整形外科医師（男性）による健康相談…

ひざの痛み、痺れなど整形外科系の症状や悩みの相談に応じます。

実施日／7月14日、11月17日、2月16日（すべて木曜日）

みがこうよ 未来へつなげる じょうぶな歯

6月4日（土）から10日（金）までは、口腔保健週間です。何歳になっても元気に生活するために、歯と口の健康づくりに取り組みましょう。

- ①ひと口30回を目安に、よく噛みましょう。
- ②週に1回以上、口の中を観察しましょう。
- ③食後の歯磨きを習慣にしましょう。
- ④フッ素入りの歯磨き剤を使いましょう。
- ⑤歯磨きの指導を定期的に受けましょう。
- ⑥規則正しい生活をしましょう。

- ⑦間食は時間を決めましょう。
 - ⑧病気を予防しましょう。
 - ⑨ストレスをためこまないようにしましょう。
 - ⑩たばこ、深酒はやめましょう。
- 問合せ／健康課（☎23-3113）

何ができるかみんなで考えよう
～節電にご協力ください～

農地の貸し付け相手探しをお手伝い

農地利用集積円滑化事業

市では、農地の有効利用を図るため、農地利用集積円滑化事業（農地所有者代理事業）を今年度から実施します。

この事業は、市が農地の所有者から委任を受けて、農地の出し手と受け手をつなぐことにより結びつけ、農地の売り渡しや貸し付け、農作業の受委託などを行うものです。

農地の所有者で、耕作し

てくれる人が見つからず困っている人や、耕作者で、経営面積を拡大したいけれど農地が見つからず困っている人は、相談してください。

相談受付時間／午前9時～午後4時
※土・日・祝日を除く。



動物の正しい飼い方推進月間

6月は「動物の正しい飼い方推進月間」です。次のことに注意して、動物を適切に飼いましょう。

◎飼う前に、きちんと飼うことができる環境であるか家族でよく考えましょう。

◎ペットショップなどで動物を選ぶときは、世話の方法やかかりやすい病気など、特徴を確認しましょう。

◎動物に起因する感染症を予防するために注意を払いましょう。また、過剰な触れ合いは控え、動物に触ったら必ず手を洗いましょう。

◎飼い主が分かるよう、迷子札やマイクロチップなどをつけましょう。特に、飼い犬については首輪などに登録鑑札と狂犬病予防注射済票をつけることが狂犬病予防法で義務付けられています。



▲犬の鑑札と予防接種済票

◎犬の放し飼いは禁止されています。運動させる場合は、犬を制止できる人が短い引き綱で行いましょう。

◎猫は屋内で飼いましょう。猫による他人への迷惑を防止でき、また、病気や交通事故などの危険から守ることができます。

◎ペットの排せつ物は、飼い主が責任を持って処理しましょう。

◎望まれない子犬・子猫を増やさないために、不妊去勢措置をしましょう。

◎責任を持って最後まで面倒を見ましょう。どうしても飼えなくなった場合は、新しい飼い主を探してください。見つからない場合でも絶対に捨てたりせず、保健所や動物愛護センターに相談してください。

◎愛護動物を虐待したり、捨てたりした場合、法律により罰せられる場合があります。

◎動物は「命あるもの」です。人と動物との共生に配慮して接しましょう。

問合せ／環境課（☎22-3352）

※千葉県動物愛護センターでは、犬の正しい飼い方・しつけ方などに関して定期的に教室を開催しているほか、学校の授業や地元の勉強会などに無料で講師を派遣しています。

農業委員会委員選挙

立候補予定者説明会を開催

選挙管理委員会では、農業委員会委員選挙の立候補予定者説明会を行います。

立候補の届出に必要な書類などを事前に配布し、内容の説明を行います。

相談者／農地の所有者および耕作者

相談方法／「農地利用集積円滑化事業申出書」を作成の上、提出してください。

※申出書は農水産課にあります。また、市ホームページからダウンロードすることもできます。

問合せ／館山市農地利用集積円滑化団体（農水産課内）
☎22-3396

日時／6月10日（金）午後1時30分

場所／市役所本館2階会議室

問合せ／選挙管理委員会事務局（☎22-3523）

休日エイズ検査（予約制）

安房健康福祉センター（安房保健所）では、平日に検査を受けられない人のために、休日エイズ検査を実施します。検査は無料・匿名で受けることができます。

日時／6月12日（日）、11月27日（日）両日とも10:00～12:00

場所／安房健康福祉センター（安房保健所）

申込み・問合せ／安房健康福祉センター（☎22-4511）

シンボルロードの愛称を募集



▲愛称を募集するシンボルロード

館山駅周辺地区の都市再生を目指し、館山港多目的観光棧橋やビーチ利用促進モデル事業と連携して整備を進めてきた都市計画道路を船形館山港線（汐入橋南側からたてやま夕日海岸ホテルまでの区間約1千300メートル）が7月に完成します。

市では、この道路が市民や来訪者の皆さんに親しんでもらえるよう、愛称を募集します。

応募された愛称は、館山市公共施設愛称選考委員会が選考して優秀作品1点を

決定します。

応募規定／応募資格は問いません。1人何点でも応募できますが、はがきは1枚、Eメールは1件につきそれぞれ1点とします。

応募方法／はがきまたはEメールで、「愛称」とその愛称を付けた理由、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業（学生の場合は学校名、学年）、電話番号を明記し、応募してください。

※決定された愛称に関する

市営50メートルプール 監視員を募集

市内宮城に開設する市営50メートルプールの監視員を募集します。

職種／プール監視員兼作業員

勤務期間／7月11日（月）

～9月3日（土）

勤務時間／午前6時30分～午後7時15分のうち7時

一切の権限は市に帰属します。

応募締切／6月30日（木）
（はがきの場合は当日消印有効）

表彰／優秀作品の応募者に表彰状と記念品を贈呈
※優秀作品の応募者が多数の場合は、抽選で表彰者を決定します。また、表彰者は本人の同意がある場合は公表します。

応募・問合せ／〒294-8601 北条1145-1 都市計画課「愛称募集係」
（☎22-3612、Eメール tosikeikaku@city.tateyama.chiba.jp）

間45分で、週40時間以内

賃金／時給946円

資格／18歳以上60歳未満で泳力に自信がある人（高校生不可）

募集人員／10人程度

申込締切／6月24日（金）

申込み・問合せ／スポーツ課（☎22-3696）

千葉県警察官採用試験

募集期間／7月1日（金）～8月10日（水）
試験日／【第1次】9月18日（日）【第2次】10月中旬～11月上旬
最終合格発表／12月中旬
採用予定者数／警察官A男性（大学卒）70人程度、警察官B男性（高校卒）85人程度、警察官A女性（大学卒）10人程度、警察官B女性（高校卒）20人程度
問合せ／館山警察署警務課（☎23-0110）

有料広告

有料広告スペース

縦 45 ミリメートル
横 85 ミリメートル
8千円

有料広告スペース

縦 45 ミリメートル
横 85 ミリメートル
8千円

有料広告スペース

縦 45 ミリメートル
横 85 ミリメートル
8千円

北条地区公民館

野山・里山ウォーキング

北条地区公民館では、親子で草や木の名前を覚えたり、山の保護について学びながら歩く「野山ウォーキング」と、自然を満喫しながら体力づくりをする「里山ウォーキング」を開催します。

※日程は変更になる場合があります

▼野山・里山ウォーキングの日程

野山ウォーキング	里山ウォーキング	行き先
7月2日(土) 8:40～12:30	7月3日(日) 8:40～12:30	てんばいえん 天拝園
9月24日(土) 8:40～12:30	10月8日(土) 8:40～12:30	大日山
11月19日(土) 8:40～12:30	11月26日(土) 8:40～12:30	ほだい 保台ダム
1月21日(土) 8:40～14:30	1月22日(日) 8:40～14:30	花嫁街道
2月18日(土) 8:40～12:30	2月26日(日) 8:40～12:30	佐久間ダム

あります。

集合時間／午前8時30分

集合場所／コミュニティセンター南口玄関

講師／佐藤宏武氏

対象／【野山ウォーキング】小学生とその保護者【里山ウォーキング】一般成人

定員／両コースとも25人

(応募多数の場合は抽選)

参加費／1人500円(5回の保険料)

申込締切／6月15日(水)

申込み・問合せ／北条地区公民館(午前9時～午後5時)

参加費／1人500円(5回の保険料)
申込締切／6月15日(水)
申込み・問合せ／北条地区公民館(午前9時～午後5時) ☎24-1515



子どもゆめ基金助成事業

第32回青少年国際交流キャンプ

富士山麓のキャンプ場で、全国から集まる日本人と外国人の青少年が活動・生活を共にし、言葉の違いを越えた交流を深めます。

期間／8月3日(水)～7日(日) 4泊5日

場所／山梨県立本栖湖青少年スポーツセンター

費用／【東京発】5万2千円

対象／小学4年生～中学3年生

定員／日本人90人、外国人20人

応募締切／7月7日(木)

説明会／【東京会場】6月25日(土) 午後3時30分～午後4時30分(国立オリンピック記念青少年総合センター)

資料請求・問合せ／(財)国際青少年研修協会(☎03-6459-4661)

「沖ノ島探検隊」の参加者を募集!

沖ノ島の島内や周辺の海を探検しながら生き物を観察します。

申込締切／6月24日(金)

申込み・問合せ／中央公民館(☎23-3111)



沖ノ島周辺の磯と島の中を探検しよう!

沖ノ島について学習した後、沖ノ島周辺の磯や島の中を探検します。午後からは、国立館山海上技術学校の『望洋丸』に乗船して、海から沖ノ島や市の街並みを見学します。

日時／7月2日(土) 9:00～16:00

会場／豊津ホール、沖ノ島

対象／小学校3～6年生(保護者同伴可)

定員／30人(申込み多数の場合は抽選)

持ち物／弁当、水筒、参加費

参加費／1人当たり1,000円(傷害保険料、資料代)

スノーケリングで沖ノ島周辺の海中を探検しよう!

スノーケリングと沖ノ島の水中の生き物について学習した後、沖ノ島周辺の海中をスノーケリングで探検します。

日時／8月11日(木) 9:00～16:00

会場／豊津ホール、沖ノ島

対象／小学校5～6年生(保護者同伴可)

定員／20人(申込み多数の場合は抽選)

持ち物／弁当、水筒、水着、参加費

参加費／1人当たり1,000円(傷害保険料、機材レンタル料)

内容／表のとおり。メニューの中から好きな講座を選んでください。

対象／市内在住・在勤・在学の10人以上の市民グループ

開催日時／午前9時から午後9時までの間で、1講座につき1時間以内（祝日、年末年始を除く）

※市民ボランティアが講師の場合はこの限りではありません。

会場／市内（公民館、集会所、学校など）

※会場の確保、当日の進行は申込者側で行ってください。

講師料／無料

※市民ボランティアが講師の場合は、教材費などが必要になる場合があります。

申込方法／希望日の20日前までに各担当課または生涯学習課に申請書を提出してください。申請書は生涯学習課にあります。また、市のホームページからダウンロードすることもできます。

その他／営利を目的としたり、個別の相談・要望など、出前講座の趣旨に合わない場合は実施できないことがあります。

◆市民ボランティアが講師のメニュー

No.	講座内容	No.	講座内容
101	サンゴが生きている東京湾の素晴らしさ	117	三義民、万石騒動等、お話しいたします
102	6千年前の沼珊瑚層を通して湧き出る銘水	118	手遊びを加えたりして、楽しく歌いましょう
103	神秘的な輝きを放つウミホタル体験	119	家族の癌と困難を乗り越えるお嫁さん術
104	海辺で楽しいひととき、海岸浴を楽しもう	120	親支援プログラム「完璧な親なんていない」
105	海辺の楽しい漂着物、イルカの耳骨など	121	身障者・高齢者と共に車椅子で踊る
106	9千年前にイルカ漁をしていた人々の物語	122	絵手紙はヘタでいい、世界に1枚しかない絵
107	食育・健康「食は命・楽しい食事」	123	お茶の点て方や頂き方等、基本を体験学習
108	生活習慣病予防のための食育教室	124	家の玄関や室内に飾る簡単な生け花を学ぶ
109	歌でスペイン語を覚えよう	125	伝統の和紙で人形・花・動物等を製作する
110	皆で力を合わせてオリジナル絵本をつくろう	126	洋食・中華・和食等を家庭風総菜として味付する
111	「房総の民話」を房州弁で話します	127	相互の交流を通して、手話を学びます
112	暮らしの中のカタカナ語って多いですね	128	太極拳
113	絵本・素話・紙芝居・手あそび等	129	気功
114	子育ての悩み、相談等伺います	130	星の観察
115	幼稚園・小学校等を中心としたお話し会	131	館山で初めて星に名前がついた人のお話
116	パネルシアター	132	映画英会話を聞けて、話せるようになる

※市民ボランティアが講師のメニュー（No.101～132）については、生涯学習課（☎22-3698）にお問い合わせください。



～様々なジャンル 全部で91講座～

有料広告スペース

縦 45 ミリメートル
横 85 ミリメートル
8千円

有料広告スペース

縦 45 ミリメートル
横 85 ミリメートル
8千円

有料
広告

市職員・市民ボランティアがおじゃまします！

生涯学習出前講座 **でまえ・いっしょ**



生涯学習出前講座「でまえ・いっしょ」は、市職員や市民ボランティアが講師となって出向き、講座を開く制度です。皆さんの学習活動にお役立てください。

今年度は、市職員が行う講座が59講座、市民ボランティアが行う講座が32講座で、計91講座を用意しています。

問合せ/生涯学習課 (☎ 22 - 3698)

◆市職員が講師のメニュー

★は小・中学校でも利用できます。

分類	No.	講座名	担当課	分類	No.	講座名	担当課
市政	1	館山市総合計画の概要	企画課 ☎ 22 - 3163	消費生活	31	悪質商法にご用心	社会安全課 ☎ 25 - 5775
	2	館山市の財政事情	行革財政課 ☎ 22 - 3291	観光	32	館山の観光について★	商工観光課 ☎ 22 - 3346
	3	行財政改革の取り組み	行革財政課 ☎ 22 - 3235	産業	33	館山の農業・水産業について★	農水産課 ☎ 22 - 3396
	4	わかりやすい税のはなし★	税務課 ☎ 22 - 3262		34	農業委員会の仕事とは	農業委員会 ☎ 22 - 3539
	5	広報紙・学校新聞づくり★	秘書広報課 ☎ 22 - 3121		35	農地転用のあらまし	農業委員会 ☎ 22 - 3539
	6	男女共同参画	企画課 ☎ 22 - 3163		36	館山市の伝統的工芸品「房州うちわ」★	商工観光課 ☎ 22 - 3362
	7	たてやまのNPO	社会安全課 ☎ 22 - 3142	環境	37	地球温暖化対策と新エネルギー講座★	環境課 ☎ 22 - 3352
	8	国際交流講座★	企画課 ☎ 22 - 3163		38	ごみの減量とリサイクル	環境課 ☎ 22 - 3354
	9	情報公開制度とは	総務課 ☎ 22 - 3218		39	館山市のごみはどう処理するの?★	環境センター ☎ 23 - 3033
	10	個人情報保護制度とは	総務課 ☎ 22 - 3218	40	下水道のはなし★	下水道課 ☎ 22 - 3661	
	11	市民課窓口業務	市民課 ☎ 22 - 3414	建築	41	家を建てる時の手続き	都市計画課 ☎ 22 - 3610
	12	議会って★	議会事務局 ☎ 22 - 3527	まちづくり	42	都市計画とまちづくり	都市計画課 ☎ 22 - 3640
	13	議会の傍聴	議会事務局 ☎ 22 - 3527		43	みなとまちづくり	みなとまちづくり課 ☎ 22 - 3606
	14	たいせつな選挙★	選挙管理委員会 ☎ 22 - 3523	教育	44	教育委員会はどんな仕事をするところ★	教育総務課 ☎ 22 - 3685
	15	監査制度のあらまし	監査事務局 ☎ 22 - 3542		45	新学習指導要領について	学校教育課 ☎ 22 - 3694
防災	16	防災講座★	社会安全課 ☎ 22 - 3442		46	情報モラルについて考えよう	学校教育課 ☎ 22 - 3694
消防	17	防火対策講座★	館山消防署 ☎ 22 - 2903		47	子どもたちの学力向上講座	学校教育課 ☎ 22 - 3694
救急	18	救急講習	館山消防署 ☎ 22 - 2903		48	スポーツ施策の現状	スポーツ課 ☎ 22 - 3696
健康	19	すくすく子育て講座	健康課 ☎ 23 - 3113		49	図書館のおはなし★	図書館 ☎ 22 - 0701
	20	健康づくり講座	健康課 ☎ 23 - 3113		50	家庭教育について	中央公民館 ☎ 23 - 3111
	21	栄養講座★	健康課 ☎ 23 - 3113		51	社会教育について	中央公民館 ☎ 23 - 3111
	22	生活習慣病予防講座	健康課 ☎ 23 - 3113		52	公民館って何をするところ★	中央公民館 ☎ 23 - 3111
	23	各種健診のはなし	健康課 ☎ 23 - 3113		53	発掘のはなし★	生涯学習課 ☎ 22 - 3698
福祉	24	障害者の福祉サービス	福祉課 ☎ 22 - 3492	歴史	54	文化財ってな～に?★	生涯学習課 ☎ 22 - 3698
	25	認知症ってどんな病気?	福祉課 ☎ 22 - 3487		55	戦争遺跡のはなし★	生涯学習課 ☎ 22 - 3698
	26	少子化対策・子育て支援	こども課 ☎ 22 - 3496		56	甲冑を着よう! (出張甲冑体験教室)	博物館 ☎ 23 - 5212
	27	介護保険について	保険給付課 ☎ 22 - 3489	57	博物館の裏側をのぞいてみよう★	博物館 ☎ 23 - 5212	
	28	国民健康保険講座	保険給付課 ☎ 22 - 3428	特別	58	あの人の話を聞きたい	生涯学習課 ☎ 22 - 3698
	29	国民年金講座	保険給付課 ☎ 22 - 3418		59	市長と語ろう	企画課 ☎ 22 - 3163
	30	後期高齢者医療制度について	保険給付課 ☎ 22 - 3418				

『OCEAN + FESTA TATEYAMA』参加者募集!

子どもから大人まで気軽に参加できる海のスポーツイベント『OCEAN + FESTA TATEYAMA (オーシャンフェスタ館山)』を開催します。

1日目は恒例の「アウトリガーカヌーレース」に加え、新種目「ビーチ相撲」や「親子リレー」を行います。また、幼児から中学生を対象に、シドニー五輪背泳ぎ銅メダリストの中尾美樹さんによる「水泳教室」や、ライフセービング2kmビーチラン元全日本チャンピオンの中島和美さんによる「ビーチフラッグス体験」を行います。

2日目は、海のアスリートNo.1を決めるエリートレース「OCEAN + Z 5 (オーシャンズ ファイブ)」を行います。トライアスロンやライフセービングなどのアスリートが全国から集結し、館山市長杯を目指し、熱戦を繰り広げます。また「ヨット」や「スタンドアップパドル」、「貝磨き」の無料体験もあります。

開催日/6月11日(土)、12日(日)

場所/北条海岸

申込方法/一般、親子、ジュニアは市スポーツ課、エリートは館山サーフクラブまで。

※詳細は館山サーフクラブホームページ(www.tateyama-sc.com)に掲載しています。

申込締切/6月8日(水)

問合せ/館山サーフクラブ(Eメール tateyama.sc@gmail.com)、市スポーツ課(☎22-3696)



▲ビーチ綱引き

開催日	部門	対象	種目	参加料
6月11日(土)	ジュニア	幼児~中学生	ビーチフラッグス 水泳教室	無料
	親子	幼児~中学生 + 保護者	親子リレー	500円/チーム
	一般(個人)	高校生以上	ビーチ相撲	500円/人
	一般(団体)	高校生以上 (1チーム3人)	ビーチリレー	2,000円/チーム
			アウトリガーカヌー	2,000円/チーム
6月12日(日)	一般(個人)	高校生以上	ビーチ綱引き	2,000円/チーム
			ビーチフラッグス	500円/人

「だん暖たてやま」に広告を掲載しませんか

広報「だん暖たてやま」に掲載する広告を募集しています。広告は、申込期限を定めて募集していますが、広告の枠に余裕がある場合には、随時掲載する広告を受け付けています。市内全世帯を対象に発行される広報を商店、事業所などの宣伝・PRに活用してみませんか。

だん暖たてやまへの広告の掲載は1号単位で、広告の大きさは縦45ミリメートル、横85ミリメートルです。色は黒と青の2色刷です。1号に掲載できる広告は原則として4件まで。応募が4件を超えた場合には、市の規定する方法により、掲載する広告を決定します。■広告掲載場所/2色刷りページの下2段



■広告料/1号1件につき8千円(市外の事業者については5割増し)

※現在、平成23年4月1日号までの申込を受け付けています。掲載を希望する場合は問い合わせてください。

※広告の内容などにより、掲載できない場合があります。応募の方法や広告原稿の作成方法、提出方法など詳細については、市ホームページに掲載しています。

http://www2.city.tateyama.chiba.jp/

問合せ/秘書広報課(☎22-3121)

会社のPRや商店の売り出しなどに「有料広告」をご利用ください。

45ミリメートル

85ミリメートル

生活サポート情報 ⑱ 食中毒の予防と対処法!

食中毒菌は環境中のあらゆる場所に住み着いています。食中毒を予防するためには、生産者、食品加工業者、流通業者、消費者など、食品に関わるすべての人々が、衛生的に取り扱うことが大切です。

(アドバイス)

食中毒予防の三原則

①菌を付けない

- ・手指や器具類の洗浄・消毒や、食品を区分け保管したり、調理器具を用途に使分けけることなどが必要となります。
- ・しっかりと手を洗い、洗える食べ物は洗いましょう。
- ・肉や魚は他の食べ物と接触しないよう包みましょう。

②菌を増やさない

- ・食品に食中毒菌がついてしまっても、食中毒をおこすまでの菌量まで増えなければ、食中毒にはなりません。

- ・生ものや料理は、あまり時間を置かずにいただきますしよう。
- ・細菌は通常、10℃以下では増えにくくなるので、食品を扱うときには室内に長時間放置せず、冷蔵庫や冷凍庫に保管しましょう。

しよう。

③加熱して、殺菌する

- ・一般的に食中毒を起こす細菌は熱に弱く、食品に細菌がついていても加熱すれば死んでしまいます。しっかりと中心まで加熱しましょう。

- ・食器や調理器具もよく洗い熱湯や塩素剤などで消毒して二次感染を防ぎましょう。

問合せ／社会安全課 (☎25-5775)



【消費生活についての相談はこちらまで】

千葉県消費者センター ☎047-434-0999
相談時間 9:00～16:30 (日・祝祭日除く)
市役所社会安全課消費生活相談窓口 ☎25-5775
相談日 毎月第1・3木曜日 9:00～16:00



図書館だより 68 館山市図書館 (☎22-0701)

6月の休館日
6/6、13、20、23～7/2
(6/23から特別整理期間)

◆6月23日から7月2日まで休館します

6月23日(木)より7月2日(土)まで、特別整理期間のため休館します。長期の休館となり大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

《特別整理期間に何ををするの?》

年に一度の「蔵書点検」を行います。書物を虫干ししていた頃の名残で「曝書(ばくしょ)」と言うこともあります。簡単に言えば棚卸のことで、通常の業務をすべてストップさせ、図書館にある資料すべてのバーコードを読み取り、コンピュータ上のデータと照合させることで、資料がなくなっていないか、実際にある場所とデータが合っているかを点検します。あるべき場所に見当たらない本や、データのおかしい本は、図書館員の目と体と頭を使ってくまなく確認し、正しい状態に直していきます。壊れている本があれば修理も行います。これらの作業が済んだら開館に向けて、休館中に返却された本を棚に戻し、書架の整理をします。こうした蔵書点検を行うことで、読みたい本がすぐに見つけられる快適な状態が戻ります。

《期間中の利用について》

資料の貸出、閲覧、調査相談はできません。電話による延期、予約、問い合わせもお受けできません。インターネットでの蔵書検索や所蔵資料の予約は行えますが、貸出は7月3日(日)以降になります。返却は玄関横の返却ポストをご利用いただけますが、DVD、CD等の視聴覚資料は開館日にカウンターへお返しくささい。

●今月の一冊

「ピワの絵本(そだててあそぼう 88)」中井滋郎 編/農山漁村文化協会

安房の初夏の味覚の代表といえば、ピワ。日本では約40種類があるとされ、秋から冬にかけて花を咲かせ、5月から6月に橙色の甘酸っぱくみずみずしい実をつけます。大きな種がたくさん入っていますが、食べられる部分はバナナよりも多いとのこと。この「ピワの絵本」には、ピワの栽培がどのように日本に広まっていったかに始まり、ピワの育て方から実だけでなく葉や種の利用法まで、ピワの秘密が満載です。実をシロップ漬けにしてみたいと思った大人も、食べた後の種をまいてみたくなった子どもと一緒に読んで、もっと楽しくピワを味わってみませんか?

6月のおはなし会・わらべうたの会
児童向け 6/4、11、18 (14:00から)
幼児向け 6/3 (10:30から)
わらべうたの会 6/10 (10:30からと11:00から)



『ピワの絵本』

シリーズ
市民
343
「館山全体が活性化するための積極的に行なっていきたい」

『思行会』は、船形・那古地区の活性化のため、「思い考え」「そして行動する」会として、平成19年6月に設立。現在、30代から50代の34名が中心となり、月1回の定例会で意見交換をしながら活動しています。

活動の内容は幅広く、海岸清掃などの奉仕作業をはじめ、「船形地区高齢者にやさしいまちづくりとは」をテーマにした、区長会やコミュニティ、老人クラブ、関係機関も一緒になって、高齢化社会に向けた意見交換会を行ったり、「地域でスポーツを盛んにしたい」「子どもにもっとスポーツを知ってもらいたい」という思いから、いろいろ



▲盛況だった「船形ふれあい市場まつり」の様子

ろなスポーツを子どもたちが実際に見て、さわって、体験する会も実施しています。

また、地域の経済活性化の取り組みとして、船形漁港内にある漁協直営の水産物直売所「船形ふれあい市場」を中心に、地元農水産品や加工品の直売、子どもたちも楽しめる水風船やかき水、ストラックアウトの出店、地元小車なども繰り出す『船形ふれあい市場まつり』は今年で3回目を迎えました。その日に揚がった鮮魚や、新鮮な野菜を購入でき、小車の祭囃子が響く中、お祭り気分を楽しめることから、来場者も年々増え、今年は3千人もの人が集まりました。会場の売上の一部と募金箱には、総額17万5千912円が、東日本震災の義援金として集まりました。

今後の活動については、船形地区祭礼に向けた「船形おまつりマップ」の作成や、4回目となる高齢者を考える会の開催が予定されています。戸倉清会長は、「船形・那古地区にとどまらず、館山全体が活性化するように活動を積極的に行なっていきたい」と語ってくれました。



シリーズ
中世の安房と鎌倉③
水岡やぐら

中世都市鎌倉を代表する遺跡である「やぐら」。鎌倉周辺だけに集中するとされてきた武士・僧侶の納骨所・供養施設ですが、房総半島南部でも50基以上が確認されています。なかでも、富津市、南房総市の丸山・富浦・三芳、そして市内の九重地区周辺に濃密



▲水岡やぐら

な分布が見られます。

なぜこれほど多くの「やぐら」が房総

に存在したのでしょうか。

①武士階級のつながり

②鎌倉の寺社領の広がり

③東京湾の海上交通など、鎌倉と房総

が密接な関係にあったためと

考えられています。そのほか、

両地域の岩盤が凝灰岩質砂岩

と泥岩という同じもので、「や

ぐら」をつくりやすい地質的

な共通性も理由のひとつです。

房総の「やぐら」の特徴は、

古墳時代の横穴墓を中世に転

用した例が極めて多いという

ことです。房総半島南部は、

もともと古墳時代後期から終

末期に、丘陵の崖面に横穴を

掘ってつくられた横穴墓の密

集地域として知られてきまし

た。

中世の房総の人びとが、「や

ぐら」を掘る手間を省力した

合理的な精神を持っていたの

ではないかと推測させますが、

この地域の「やぐら」の総数

の半数近くが、横穴墓を転用

していることです。

古墳時代の横穴墓を再利用

した「やぐら」の代表例が、



▲五輪塔の浮き彫り

九重地区水岡の水岡やぐら(市史跡)で、丘陵の細い尾根の中腹に3基の横穴墓が並んでいます。

3基の横穴墓は、奥壁に遺体を納める掘り込みがある安房地域特有の形態で、群の中央にある横穴墓が「やぐら」に転用され、内部は17基もの五輪塔の浮き彫りで埋め尽くされています。

入口の幅約1.8m、奥行約2m、高さ約1.5mと、「やぐら」としては小規模ですが、奥壁の掘り込みの中と、床面の2か所に納骨穴があり、火葬された骨が採集されています。

この水岡やぐらから南西に延びる尾根の先端にあるのが、房総を代表するやぐら「千手院やぐら」です。

市立博物館の休館日

6月6日、13日、20日、27日

